



サントリー  
水の国くまもと  
応援プロジェクト



熊本地震で地割れが生じた水田(2016年4月撮影)

復旧工事時の様子(2017年2月撮影)

**震災から1年半、  
営農再開までの活動を振り返ります**

昨年4月の熊本地震後、サントリーホールディングスは上益城郡嘉島町に九州熊本工場がある企業として、震災後の熊本の復興に貢献するため、さまざまな支援活動を実施してきました。

熊本地震発生から半年後の2016年10月、公益財団法人くまもと地下水財団と熊本大学との連携で「サントリー熊本地下みらいプロジェクト」を始動。震災で被

害を受けた水源涵養のための湛水農地「冬水田んぼ」の復旧に取り組みました。

地割れや土下60センチの地表のズレなどが生じた嘉島町では、今年1月から冬水田んぼを実施している水田で、隣接する水田約6ヘクタールを含む22ヘクタールの復旧工事をスタート。地割れによる漏水対策や水田傾斜の補正、畦や用水路の補修などを行いました。



**復旧終えた「冬水田んぼ」で  
ファミリーが田植え体験**

5月には復旧工事が完了。翌月には水が張られた嘉島町下陳の水田で田植えイベントを開きました。約40人の親子連れが参加し、「んぼ」となりながら田植えを楽しみました。

地震直後は、まったく作付けができるところもあつほど、甚大な被害に見舞われた嘉島町。約1年で、田植えができるまでに復旧した水田を前に、近隣の農家の皆さんから感謝の声が聞かれました。



**生き物が帰ってきた水田  
有機減農薬農業を支援**

6月に田植えを行った水田も、夏になると青々と稲が波打ち、地震前と変わらない風景に。有機減農薬で育てた「冬水田んぼ」や、その周辺にはアマガエルやトンボクモなどさまざまな生き物が戻ってきて、豊かな生態系を取り戻しました。

そして10月、待ちに待った米の収穫です。皆で力を合わせて稲刈りに汗を流しました。地震の被害から復旧し、念願の田植え、稲刈りまでを終えた「冬水田んぼ」。その意義と役割を子どもたちに伝えていくことが大切です。皆で再確認した体験となりました。



# 熊本地震後の復旧・支援が結実 「冬水田んぼ」で2年ぶりの収穫を祝う

**豊かに実り黄金色に染まった水田  
念願の収穫に子どもたちも満面の笑み**

熊本地震の復旧が完了し、6月に田植えを終えた「冬水田んぼ」。10月に入り、実りの秋を迎えました。

夏の間、サントリー熊本地下水みらいプロジェクトと九州大学農谷研究室が、病害虫に強い体力のある稻作りを支援。田んぼには、うつべを垂れる稻穂が豊かに実り、大収穫を期待できそうな予感を漂わせていました。

稲刈りが行われたのは10月14日。集まつた親子約30人を前に、嘉島町の西村博則町長が「今日でちょうど震災から1年半、ちょうど長かった1年半でした」といよいよ、とても長かった1年半でした」とあいさつ。「冬水田んぼの復旧のおかげで、嘉島町にも以前の風景が戻りました。今後も、熊本の地下水を守る活動を続けていきたい」と感謝の意を述べました。

サントリーホールディングスが、公益財団法人くまもと地下水財団、熊本大学と連携し、熊本の地下水を守るために実施している「サントリー熊本地下水みらいプロジェクト」。プロジェクトを4回に分けて紹介する「シリーズ・熊本の水を守る」第3回は、熊本地震から約1年半、稲が色づいた復旧後の「冬水田んぼ」での稲刈りの様子を紹介します。

## 豊かに実り黄金色に染まった水田

念願の収穫に子どもたちも満面の笑み

「す」とお母さんの今日子さんも目を細めています。

約1時間半で、稲刈りは終了。今度は、干した稲を脱穀し、農法の違いによってどのくらい味に変化があるのか、食べ比べをする予定もあるそうです。

稲刈りが終った田んぼには、11月から来年の田植えの季節まで、熊本の豊かな地下水を守る、地下水涵養のために水が張られます。

稻刈りが終った田んぼには、11月から来年の田植えの季節まで、熊本の豊かな地下水を守る、地下水涵養のために水が張られます。

サントリーホールディングスのコーポレートコミュニケーション本部 福本ともみ本部長も、「完全な復旧・復興にはまだまだ遠い道のりかもしれません、一緒に力をしていきたい」と続けました。

稻刈りは、九州大学農谷研究室の指導の下、稻を刈る人と、刈った稻を運ぶ人に別れ、流れ作業で進んでいきました。小学校5年生の村田鴻明さんは、「田植えの時、みんなに小さかつた稻が、自分の身長の半分くらい伸びていてビックリしました」と手際よく稻を刈っていました。

木下紗良ちゃん(6)は、「弟の裕翔君(3)に育った稻を見せながら、「お米がココに入っているんだよ」と、仲良く観察していました。普段食べているお米がどんなふうに育つか知るきっかけになったよう



収穫に笑顔がこぼれる、サントリーホールディングスの福本ともみ本部長と西村博則町長



稲刈りイベントに参加したメンバー



「たくさん！」



上手に鎌を使い稻を刈る子どもたち

がんばったよ！

